

# 取扱説明書

デマンド監視モニター

管理 ツール

V e r 4 . 0



ミドリ安全株式会社

## 目 次

1、はじめに.....	1
2、インストールと起動.....	2
2-1、管理ツールの動作環境.....	2
2-2、管理ツールのインストール.....	2
2-3、管理ツールのアンインストール.....	2
2-4、USB ドライバのインストール.....	3
2-5、機器との接続方法.....	4
2-6、管理ツールの起動と終了.....	5
3、操作の流れ.....	6
3-1、監視条件を設定する.....	6
3-2、時刻を設定する.....	8
3-3、情報データを取得する.....	10
3-4、取得した情報データを閲覧する.....	12
3-5、ファイルの出力／読込.....	18
4、機能リファレンス.....	19
4-1、監視設定画面.....	19
4-2、情報データ画面.....	22
4-3、時刻設定画面.....	26
4-4、グラフ設定画面.....	27
4-5、シリアル通信設定画面.....	28
5、FAQ.....	29
5-1、パソコンの確認事項.....	29
5-2、COM ポート番号の手動変更.....	30
5-3、CSV フォーマット.....	32
5-4、異常時のメッセージと対処方法.....	33

## 1、はじめに

本書はデマンド監視モニター管理ツール（以下、管理ツール）の取扱説明書です。

デマンド検出器（以下、検出器）の 300P / 200P シリーズ（200P / 210P）との通信により、デマンド監視情報の取得や各種設定（現在時刻、設定電力、サービスパルス数、スキップタイム、注意レベル、パルス定数）を行います。

取得したデマンド監視情報は、グラフ形式での表示や、プリンターへの出力等が可能となります。

## 2、インストールと起動

### 2-1、管理ツールの動作環境

OS : Windows XP (SP2以降)、Windows Vista (SP1以降)、Windows 7 (SP1以降)、  
Windows 8及び8.1 (以下、Windows 8)、Windows 10

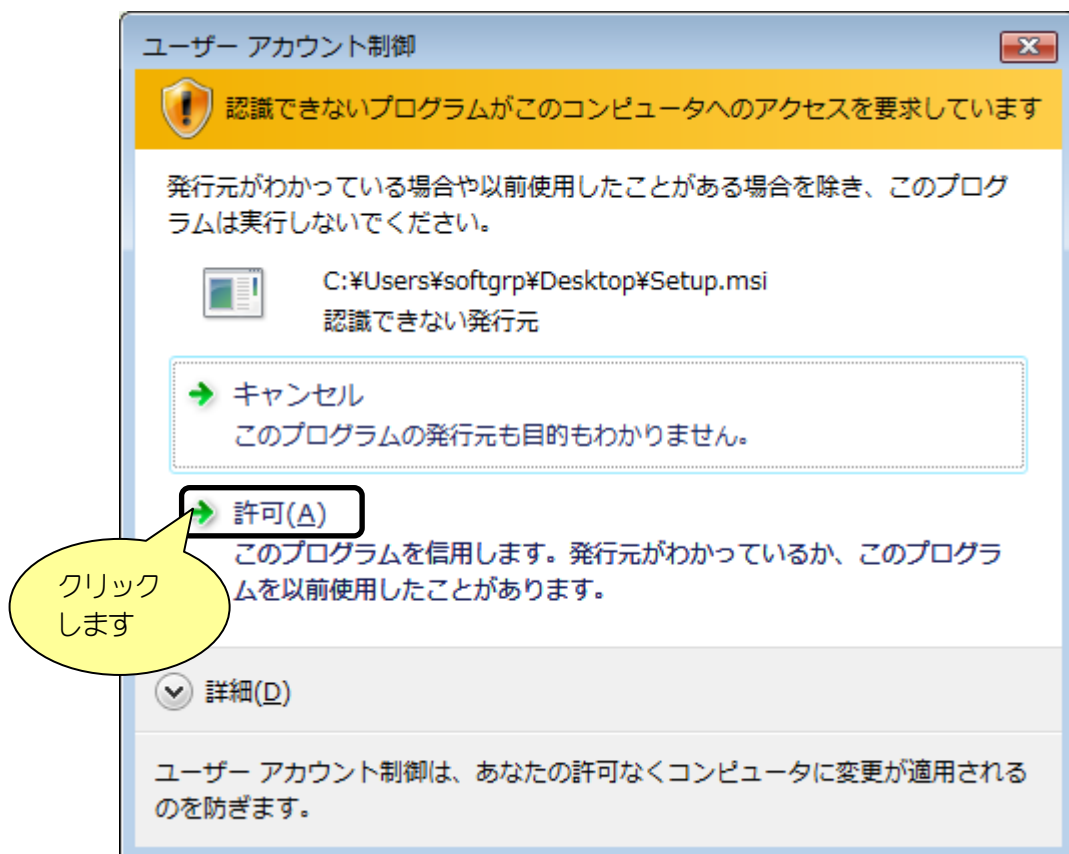
※いずれも最新のサービスパックでのアップデートを推奨

### 2-2、管理ツールのインストール

- (1) 開いているソフトウェアは全て終了させて下さい。
- (2) インストールのCDをDドライブに挿入して下さい。
- (3) 「Setup」フォルダの「setup.msi」を起動し、インストールを行って下さい。

※インストール及び管理ツールの実行時に、「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。

この場合は「許可/はい」をクリックして下さい。



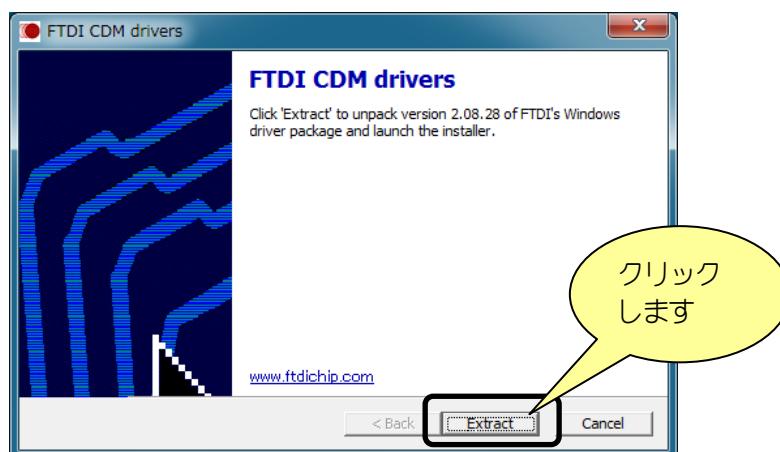
### 2-3、管理ツールのアンインストール

コントロールパネルの「プログラムと機能」(=「プログラムのアンインストール」/「プログラムの追加と削除」) から「デマンド監視エンター管理ツール Ver4.0」を選択し、アンインストールを実行して下さい。

## 2-4、USB ドライバのインストール

USB 接続には、FTDI 社製 FT232R ドライバが必要になります。  
下記ドライバのインストール作業を行ってください。

- (1) 開いているソフトウェアを全て終了させて下さい。
- (2) インストールCD を CD ドライブに挿入して下さい。
- (3) 「FTDI」フォルダの「CDM21214\_Setup.exe」を起動し、インストールを行ってください。



## 2-5、機器との接続方法

パソコンのUSB ポートと検出器のコネクタ間を、USB ケーブルで接続して下さい。

※各検出器ごと、初めてパソコンと接続したタイミングで、次の「ハードウェアの認識」が行われます。

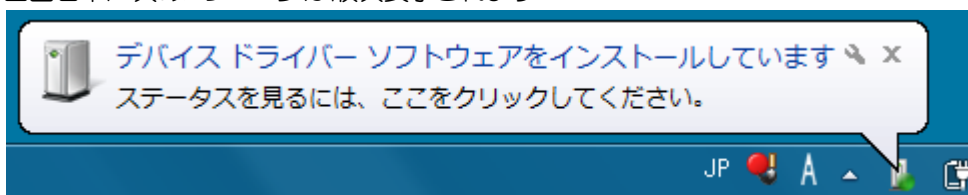
(Windows 8/10 では下記の表示は行われず、認識を示す通知音のみ鳴ります。)

ハードウェアの認識中は、検出器と通信を行うことは出来ません。

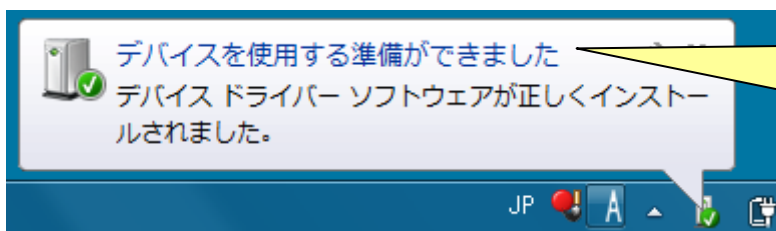
下記②の表示状態、または各表示が消えた状態になるまでお待ち下さい。

画面右下に次のメッセージが順次表示されます。

①



②



この表示になることで、  
検出器が正常に認識され  
たことがわかります

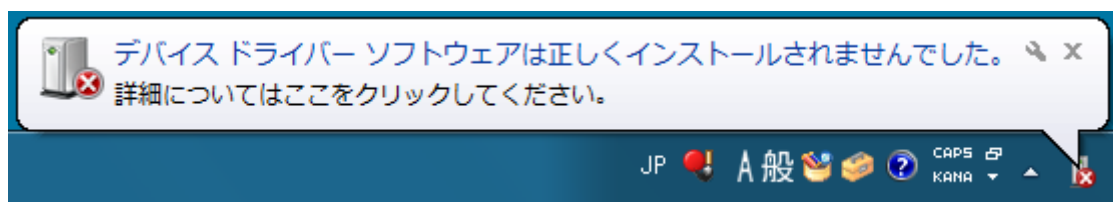
※この時、パソコンの画面右下に下記が表示された場合は、

次の手順①～③を行って下さい。(Windows 8/10 では下記の表示は行われません。)

①USB ケーブルを外します。

②本書「2-4、USBドライバのインストール」を実施して下さい。

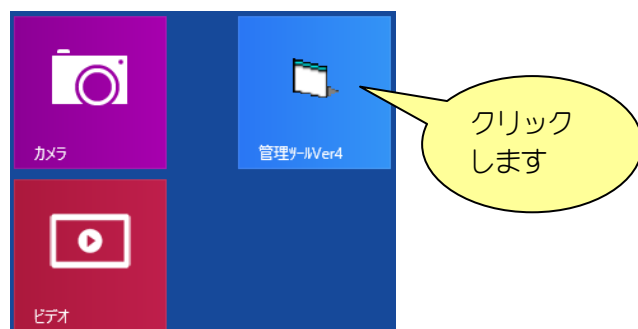
③再度、検出器とパソコンを USB ケーブルで接続します。



## 2-6、管理ツールの起動と終了

### <起動>

- Windows のスタートメニューから「すべてのアプリ」(=「すべてのプログラム」)を選択し「デマンド監視モニター」→「管理ツール Ver4」をクリックして下さい。メイン画面が起動します。
- Windows 8 の場合、スタート画面（アプリ画面）の「管理ツール Ver4」のクリックでも起動できます。



※下記ソフトウェア本体のダブルクリックでも起動が出来ます。

C:\Program Files (x86)\MDdemandV40\DemMon.exe

### メイン画面



### <終了>

画面右上の[×]ボタンで終了します。

### 3、操作の流れ

本章では、プログラムの基本操作とその流れを説明します。

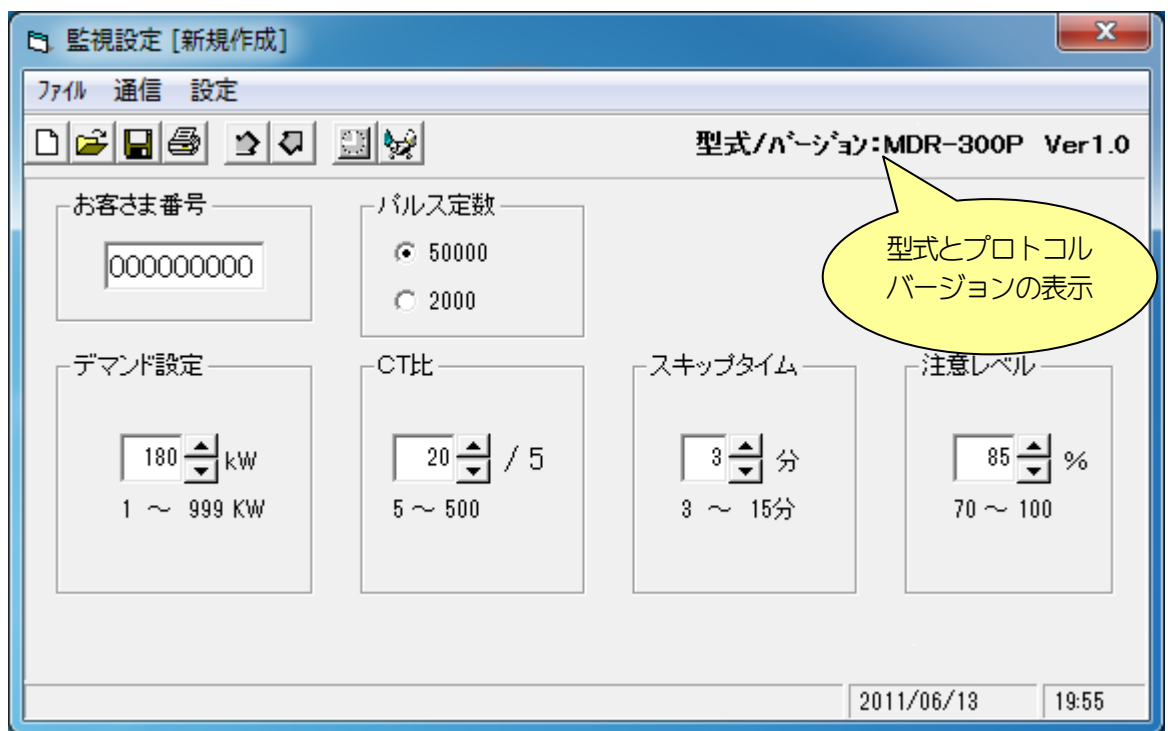
#### 3-1、監視条件を設定する

登録されている監視条件を 300P / 200P シリーズから取得し、条件の変更を行い、変更後の条件を登録します。

※監視条件の詳細につきましては、300P / 200P シリーズの取扱説明書を参照して下さい。  
※シリアルポートのオープンに失敗する場合は、「4-5、シリアル通信設定画面」を参照し、有効なポート番号を設定して下さい。

(1) メイン画面の「設定」ボタンをクリックし、「監視設定」画面を起動して下さい。

例) 300P シリーズでの画面



検出器の型式とプロトコルバージョンを自動認識して画面右上に表示します。

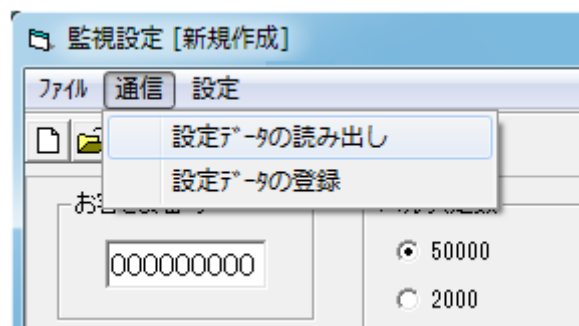
※前回設定値が初期表示され、値の変更を行った場合は、背景色が黄色で示されます。

※設定内容はバージョンにより異なる場合があります。

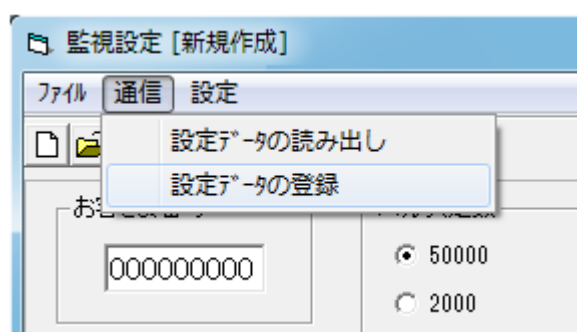
詳細は「4-1、監視設定画面」を参照して下さい。



- (2) 検出器から、登録されている監視条件を取得します。  
メニュー「通信」→「設定データの読み出し」をクリックして下さい。  
登録されている条件を読み込み、画面に表示します。



- (3) 変更した設定を検出器に登録します。  
メニュー「通信」→「設定データの登録」をクリックして下さい。  
確認後、設定値を検出器に登録します。



- (4) 「監視設定」画面を終了します。  
メニュー「ファイル」→「閉じる」、または画面右上の[×]をクリックして下さい。

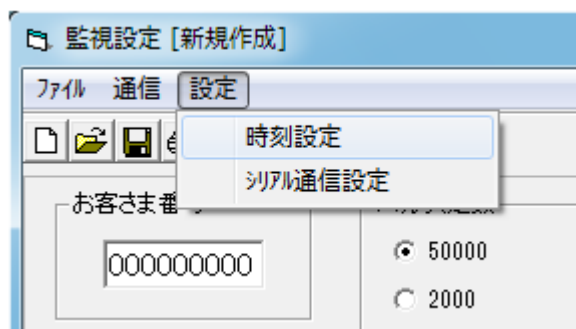
### 3-2、時刻を設定する

検出器に日付と時間を登録します。

※ 出荷時に時刻情報が正しく設定されていない可能性があります。

※ 時刻は必ず電力量計の現在時刻に合わせて下さい。ずれていると正確な計測が出来ません。

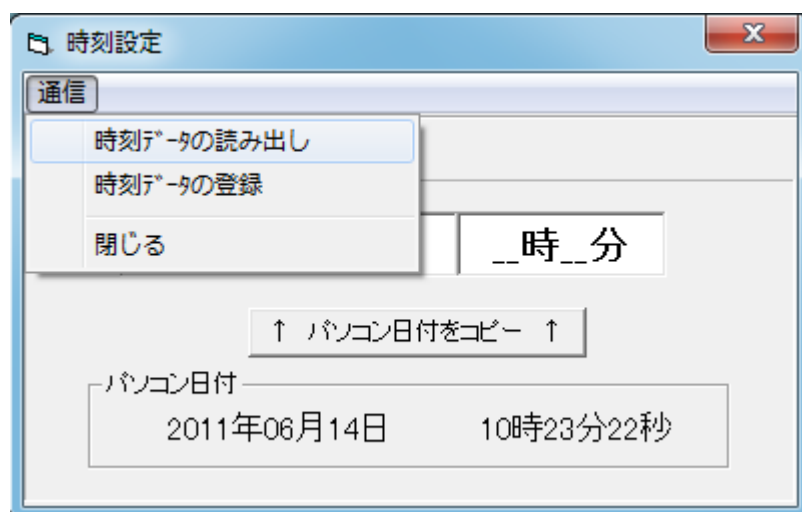
- (1) 「監視設定」画面または「情報データ」画面から、メニュー「設定」→「時刻設定」をクリックし、「時刻設定」画面を起動します。



- (2) 検出器から時刻データを取得します。

メニュー「通信」→「時刻データの読み出し」をクリックします。

検出器の時刻データを読み出して画面に表示します。



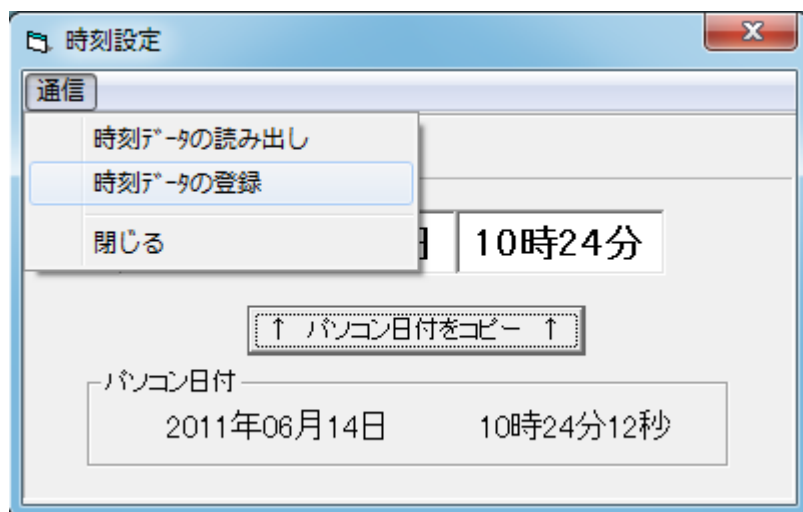
- (3) 時刻を変更します。

キーボードからの数値入力、または上下矢印キーで変更します。

「パソコン日付をコピー」ボタンを押すと、パソコンの現在日付をコピーします。

(4) 検出器へ時刻を登録します。

変更を行った後、メニュー「通信」→「時刻データの登録」をクリックします。



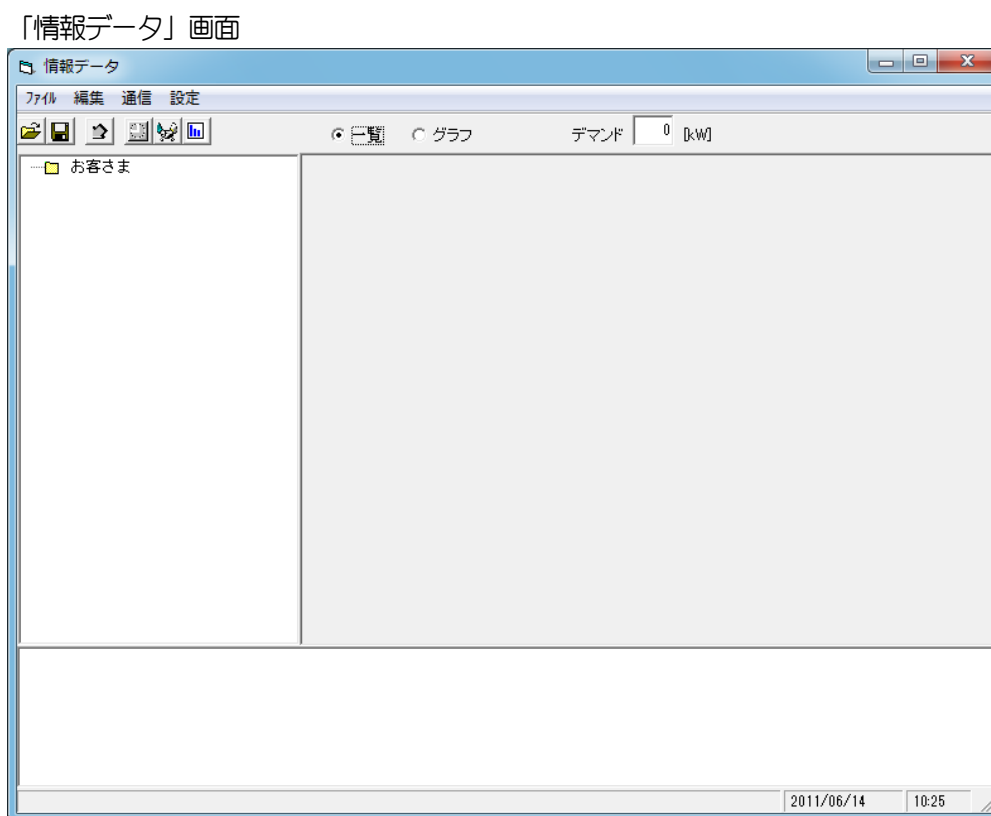
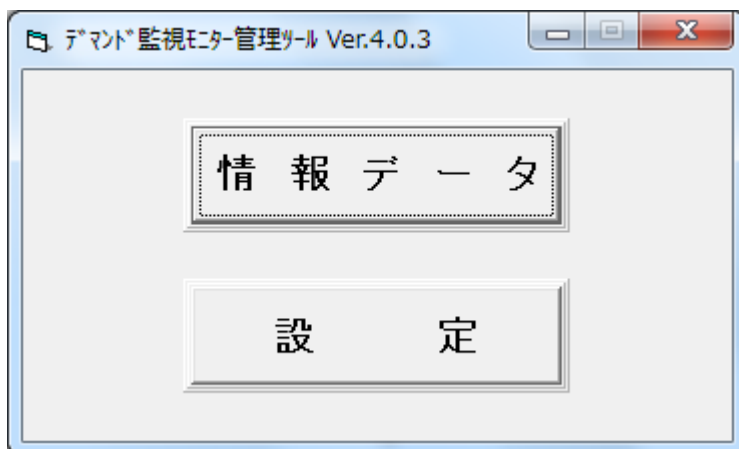
時刻データを検出器に登録します。

(5) 「時刻設定」画面を終了します。

メニュー「ファイル」→「閉じる」、または画面右上の[×]をクリックして下さい。

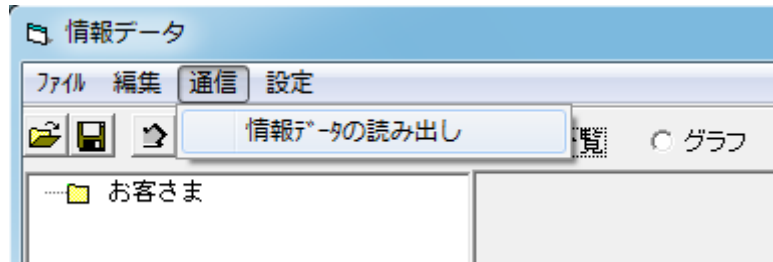
### 3-3、情報データを取得する

(1) メイン画面から「情報データ」ボタンをクリックし、「情報データ」画面を起動します。

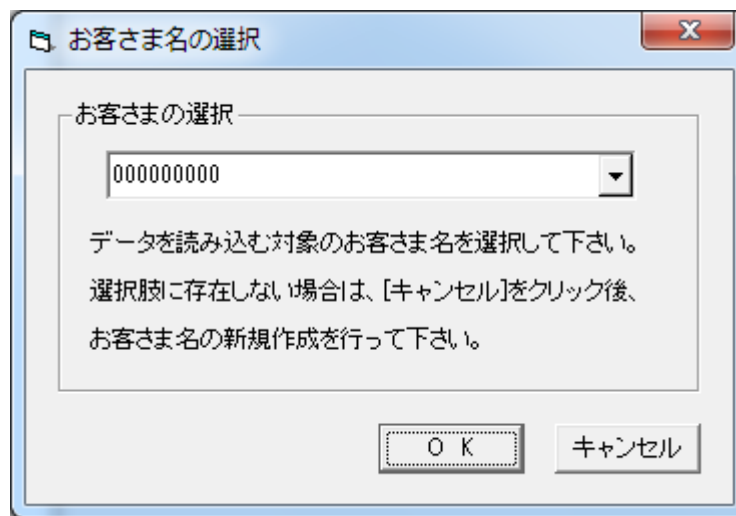


(2) 情報データの読み出し

(ア) メニュー「通信」→「情報データの読み出し」をクリックします。



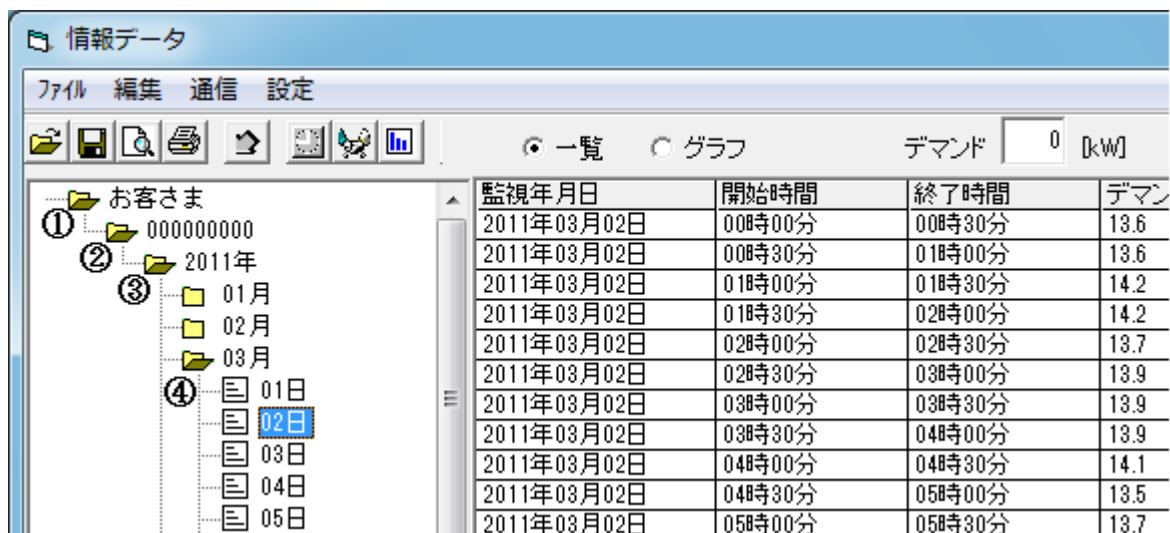
(イ) お客さまを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



確認後に情報データの読み出しが開始されます。

### 3-4、取得した情報データを閲覧する

情報データをお客さま毎に年／月／日単位で閲覧することが出来ます。  
データは上位レベルから、お客さま→年→月→日の順で登録されています。  
閲覧したいお客さまの年／月／日をクリックすると対象データを一覧表示します。



①お客さま名／②年／③月／④日

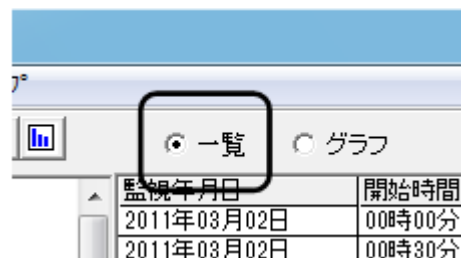
お客さま／年／月をダブルクリックすることで、下位項目が表示または非表示となります。

#### 3-4-1、表示形式の選択

一覧またはグラフの表示形式を選択できます。



(1) 「一覧」を選択した場合

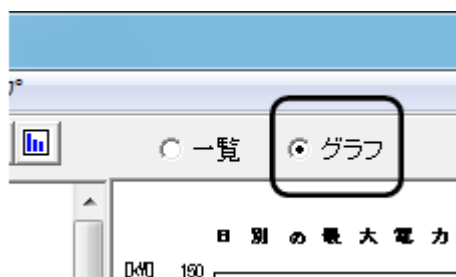


次の項目を一覧表示します。

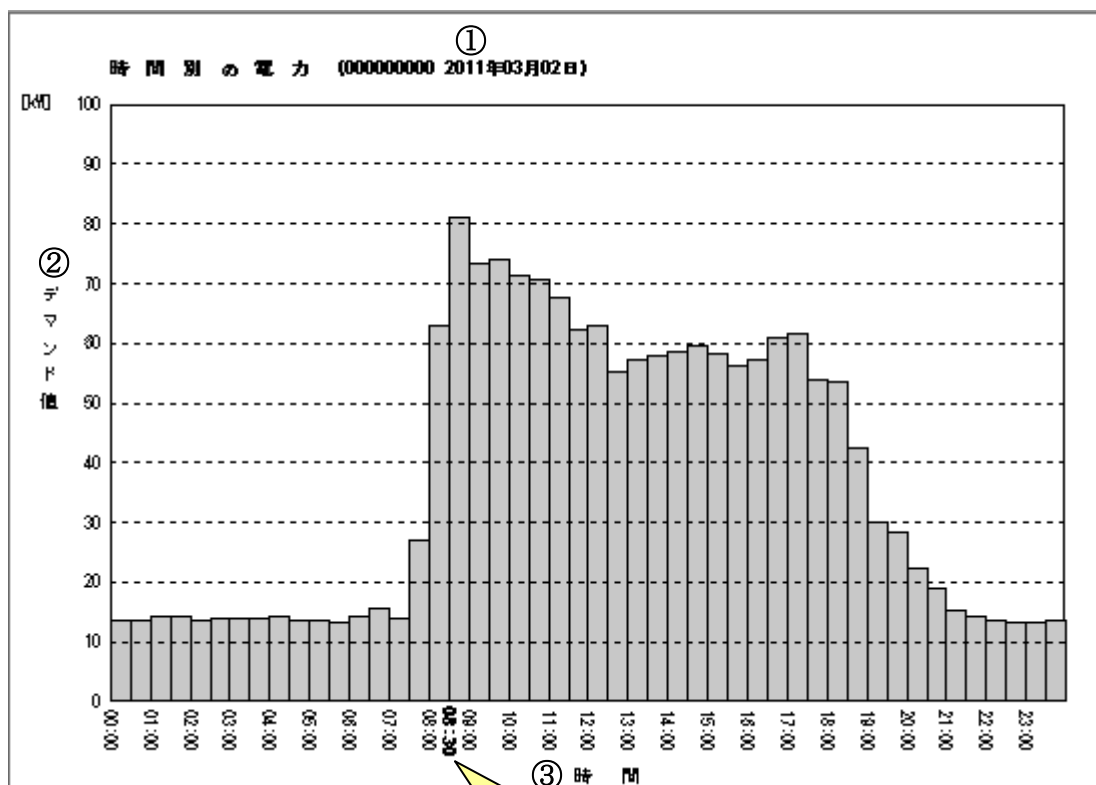
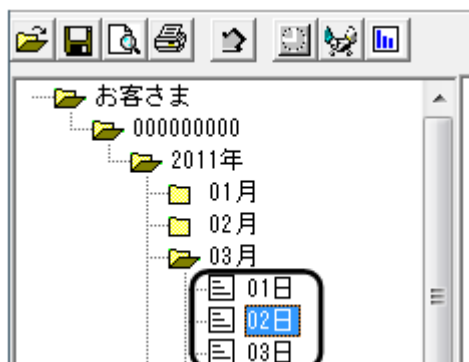
監視年月日	: 監視を行った日付
開始時間	: 監視を開始した時間
終了時間	: 監視を終了した時間
デマンド値[kW]	: 監視したデマンド値
取得日時	: 機器から情報データを読み出した日時

(2) 「グラフ」を選択した場合

対象データを「棒グラフ」または「折線グラフ」で表示します。



(ア) 日を選択すると「時間別の電力」グラフを表示します。



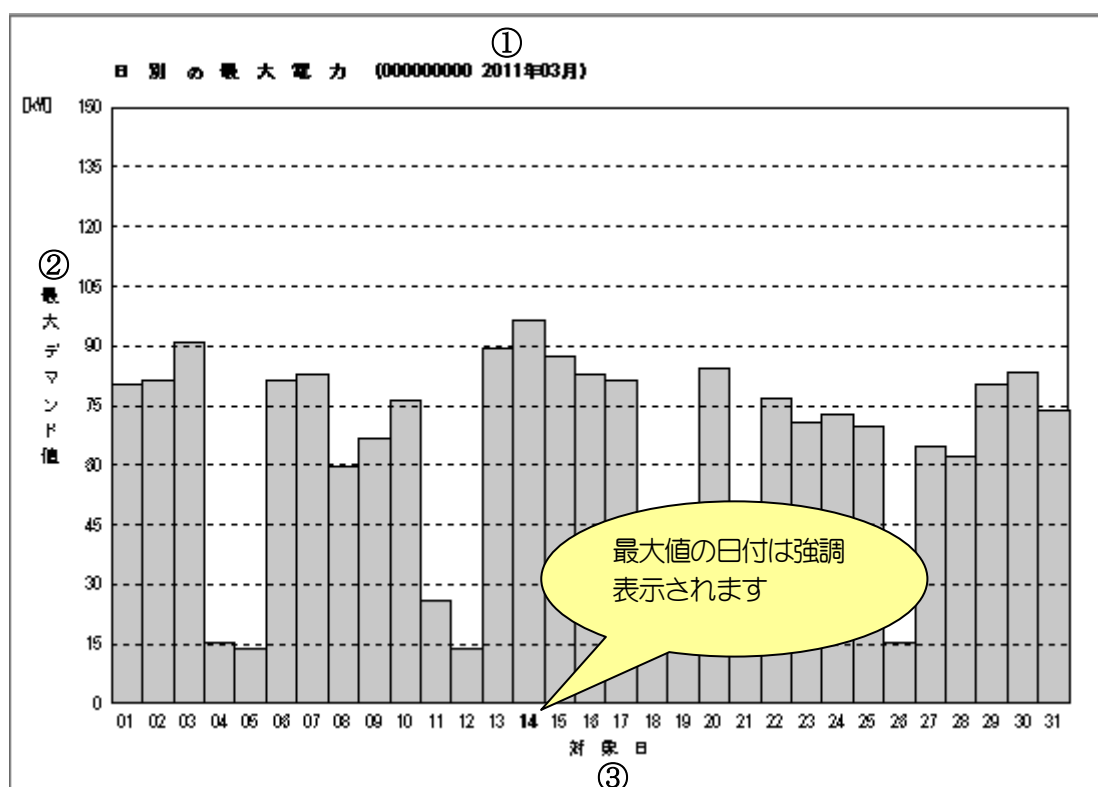
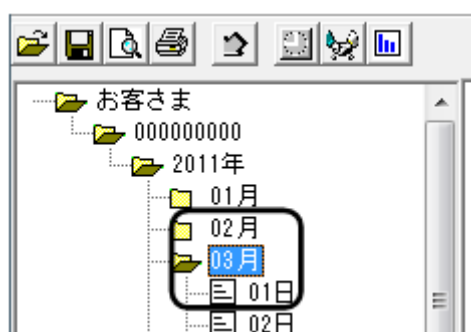
①お客さま名と監視年月日

②監視したデマンド値

③監視した時間

最大デマンド値の時間帯  
は強調表示されます

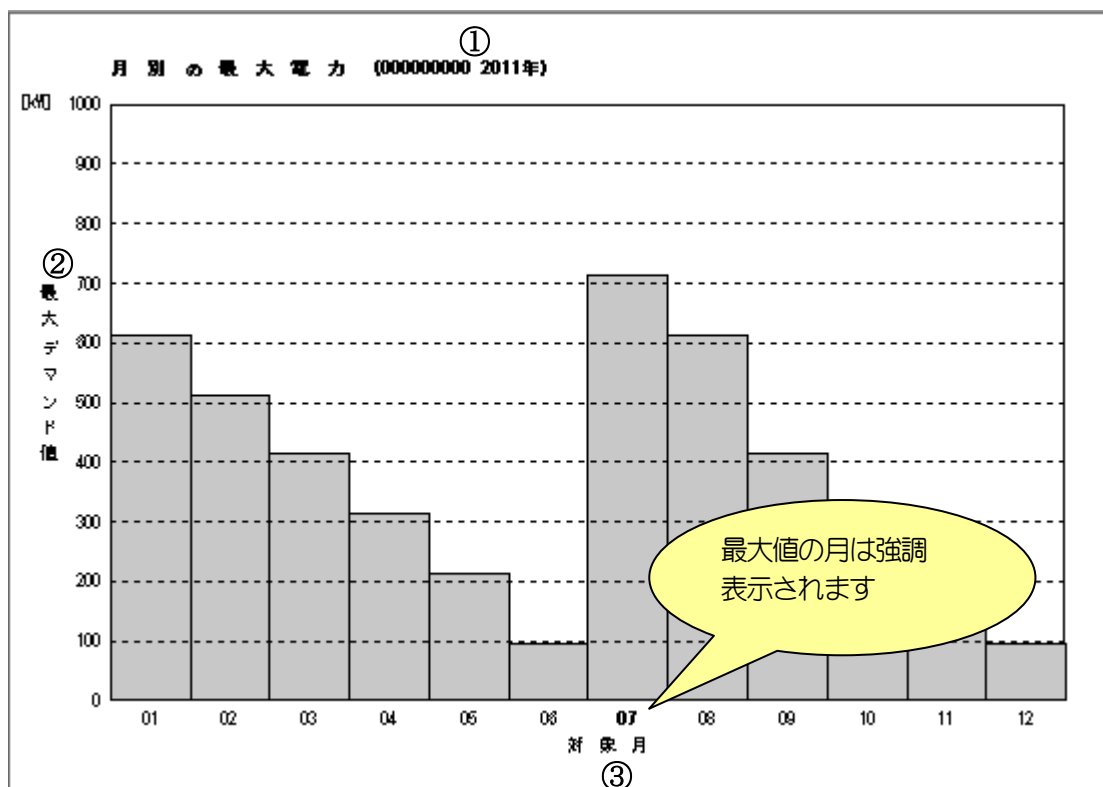
(イ) 月を選択すると「日別の最大電力」または「日別の平均電力」グラフを表示します。



- ①お客さま名と監視年月
- ②最大デマンド値、または平均デマンド値
- ③最大デマンド値、または平均デマンド値を出力する日



(ウ) 年を選択すると、「月別の最大電力」または「月別の平均電力」グラフを表示します。



①お客さま名と監視年

②最大デマンド値、または平均デマンド値

③最大デマンド値、または平均デマンド値を出力する月

※最大デマンド値または平均デマンド値のどちらを表示するかは、  
「4-4、グラフ設定画面」を参照して下さい。

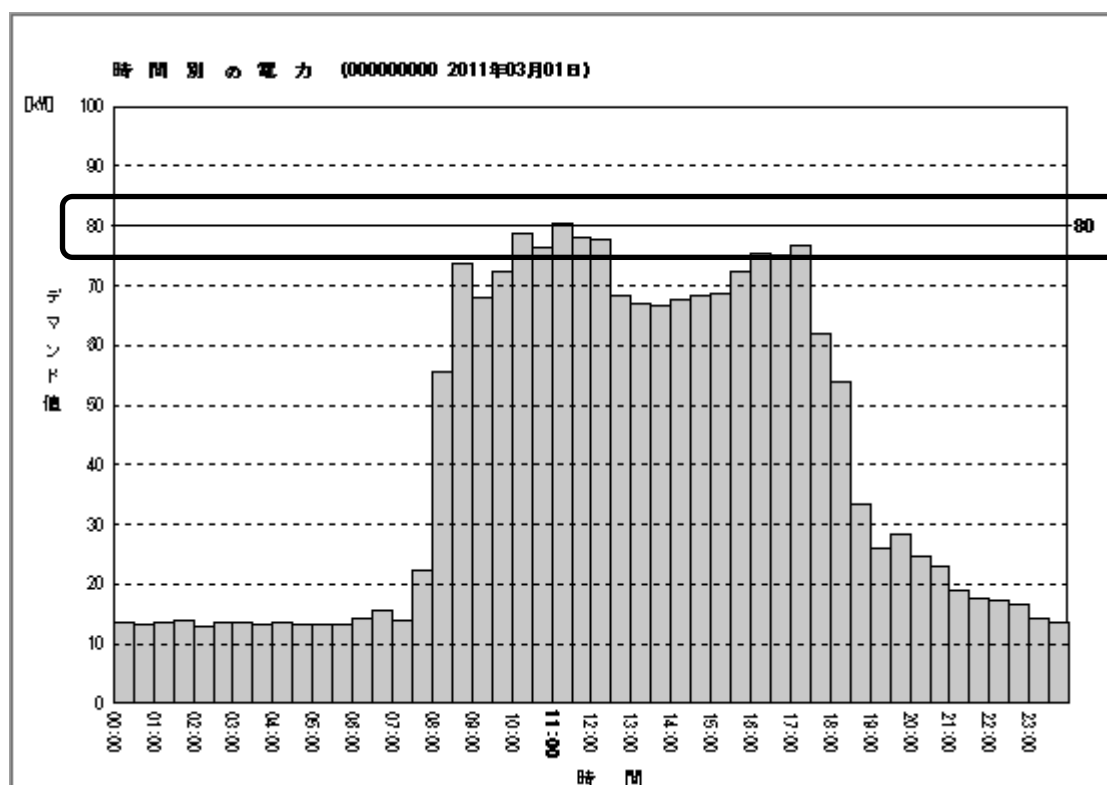
### (3) デマンドの入力

「デマンド」入力欄に数値（1～999）を入力し、キーボードでEnter キーを押して下さい。

(ア) 一覧の場合、超過しているデータを赤色表示します。

<div> <input checked="" type="radio"/> 一覧         <input type="radio"/> グラフ         <div>           デマンド <input type="text" value="80"/> [kW]         </div> </div>				
監視年月日	開始時間	終了時間	デマンド値[kW]	取得日時
2011年03月01日	09時00分	09時30分	68.0	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	09時30分	10時00分	72.4	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	10時00分	10時30分	78.6	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	10時30分	11時00分	76.4	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	11時00分	11時30分	80.5	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	11時30分	12時00分	78.1	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	12時00分	12時30分	77.7	2011/06/14 17:21
2011年03月01日	12時30分	13時00分	68.3	2011/06/14 17:21

(イ) グラフの場合、入力したデマンドの指標ラインを描画します。



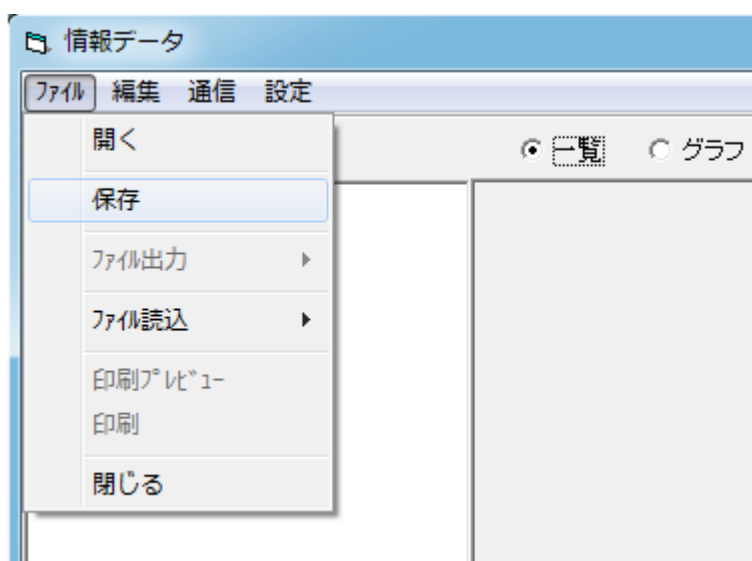
※表示をクリアしたい場合は、デマンド入力エリアに0を入力してEnter を押して下さい。

3-4-2、「情報データ」画面を終了します。

メニュー「ファイル」→「閉じる」、または画面右上の ☒ をクリックして下さい。

### 3-4-3、データの保存

- (1) 読み出した情報データを保存します。  
メニュー「ファイル」→「保存」をクリックします。



- (2) ファイル名を入力して保存して下さい。  
拡張子「dmd」のファイルが保存されます。

※最後に保存した状態はアプリケーション情報として保持され、次回に情報データ画面を開いた時に初期データとして表示します。

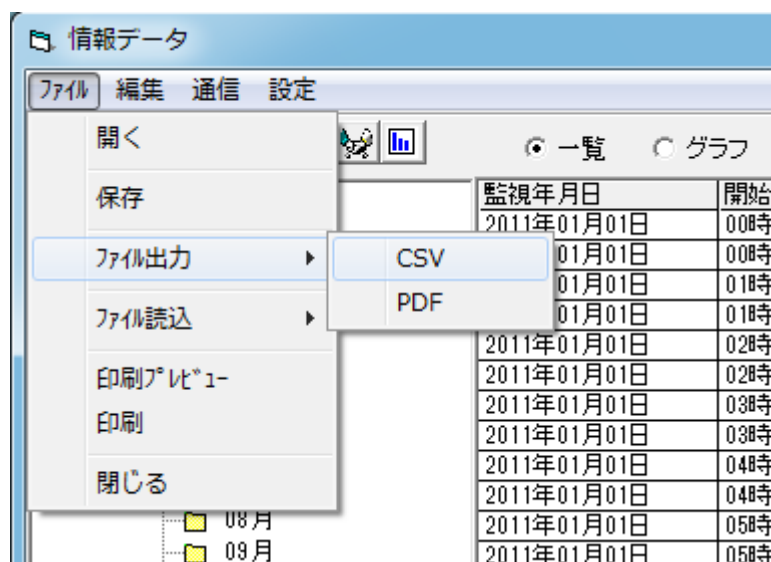
### 3-4-4、データを開く

- (1) 保存した情報データを開きます。  
メニュー「ファイル」→「開く」をクリックします。
- (2) ファイルを選択します。  
開いたデータが情報データ画面に表示されます。

### 3-5、ファイルの出力／読込

#### 3-5-1、ファイルの出力

- (1) ファイル出力するお客さまの年、月、または日をクリック選択します。
- (2) メニュー「ファイル」→「ファイル出力」から、「CSV」または「PDF」のファイル形式をクリックします。
- (3) ファイル名を指定し保存します。

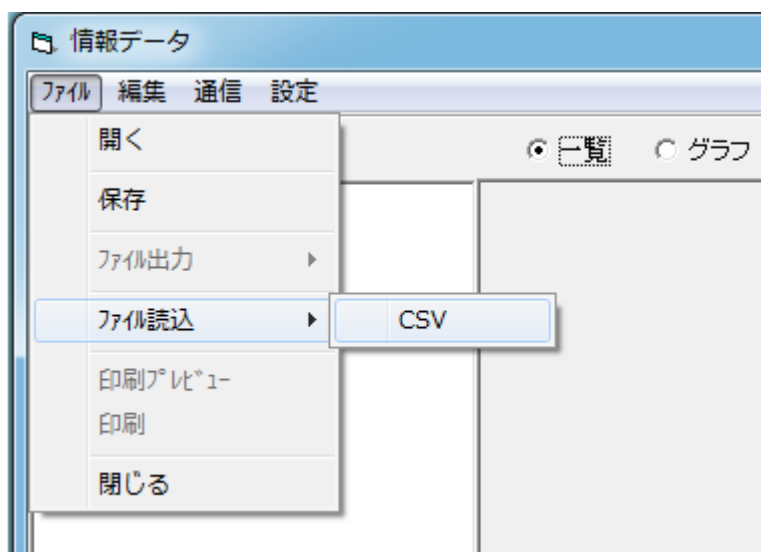


※CSV ファイルの名前は以下に従ったファイル名で、保存を行います。  
お客さま名.CSV

例) お客さま名 12345789 のファイル名  
1 2 3 4 5 6 7 8 9.CSV

#### 3-5-2、ファイルの読込

メニュー「ファイル」→「ファイル読込」→「CSV」をクリックした後、  
CSV ファイル名を指定し読み込みを行います。



※CSV ファイルのデータ内容については、「5-3. CSV フォーマット」を参照して下さい。

## 4、機能リファレンス

### 4-1、監視設定画面

検出器の監視条件を表示／登録する画面です。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックすると、「監視設定」画面を表示します。

<300P シリーズ>

※監視条件の詳細は、300P シリーズの取扱説明書を参照して下さい。

監視設定 [新規作成]

ファイル 通信 設定

型式/バージョン:MDR-300P Ver1.0

お客さま番号  
0000000000

パルス定数  
☒ 50000  
☐ 2000

デマンド設定  
180 kW  
1 ~ 999 KW

CT比  
20 / 5  
5 ~ 500

スキップタイム  
3 分  
3 ~ 15分

注意レベル  
85 %  
70 ~ 100

2011/06/13 19:55

※ 初期値（出荷時設定）は次の値です。

お客さま番号	0000000000
デマンド設定	180 [KW]
C T比	20/5
スキップタイム	3 [分]
注意警報レベル	85 [%]
パルス定数	50000 [パルス]

<200P シリーズ>

※監視条件の詳細は、200P シリーズの取扱説明書を参照して下さい。

監視設定 [新規作成]

ファイル 通信 設定

型式/バージョン: MDR-210P Ver1.0

お客さま番号  
0000000000

デマンド設定  
180 kW  
1 ~ 999 KW

CT比  
20 / 5  
5 ~ 500

スキップタイム  
5 分  
5 ~ 15分

注意レベル  
90 %  
70 ~ 100

2011/06/13 19:12

※ バージョンによりCT比、注意レベルは、選択肢での設定となる場合があります。

※ 初期値（出荷時設定）は次の値です。

お客さま番号	0000000000
デマンド設定	180 [KW]
CT比	20/5
スキップタイム	5 [分]
注意警報レベル	90 [%]

## (1) メニューと機能詳細

### (ア) 「ファイル」メニュー

- 「新規作成」  
出荷時設定を画面に表示します。
- 「開く」  
保存した設定値ファイル (\*.cfg) を開きます。
- 「上書き保存」  
画面に表示中のデータを、上書きで保存します。
- 「名前を付けて保存」  
画面に表示中のデータを、ファイル名を指定して保存します。 (\*.cfg)
- 「印刷」  
画面に表示中のデータを、プリンターへ出力します。
- 「閉じる」  
監視設定を終了します。

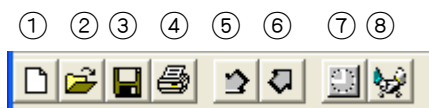
### (イ) 「通信」メニュー

- 「設定データの読み出し」  
検出器に登録している監視条件を読み出し、画面に表示します。
- 「設定データの登録」  
画面に表示中の監視条件を検出器へ登録します。

### (ウ) 「設定」メニュー

- 「時刻設定」  
時刻設定画面を表示します。
- 「シリアル通信設定」  
シリアル通信設定画面を表示します。

## (2) ツールバー

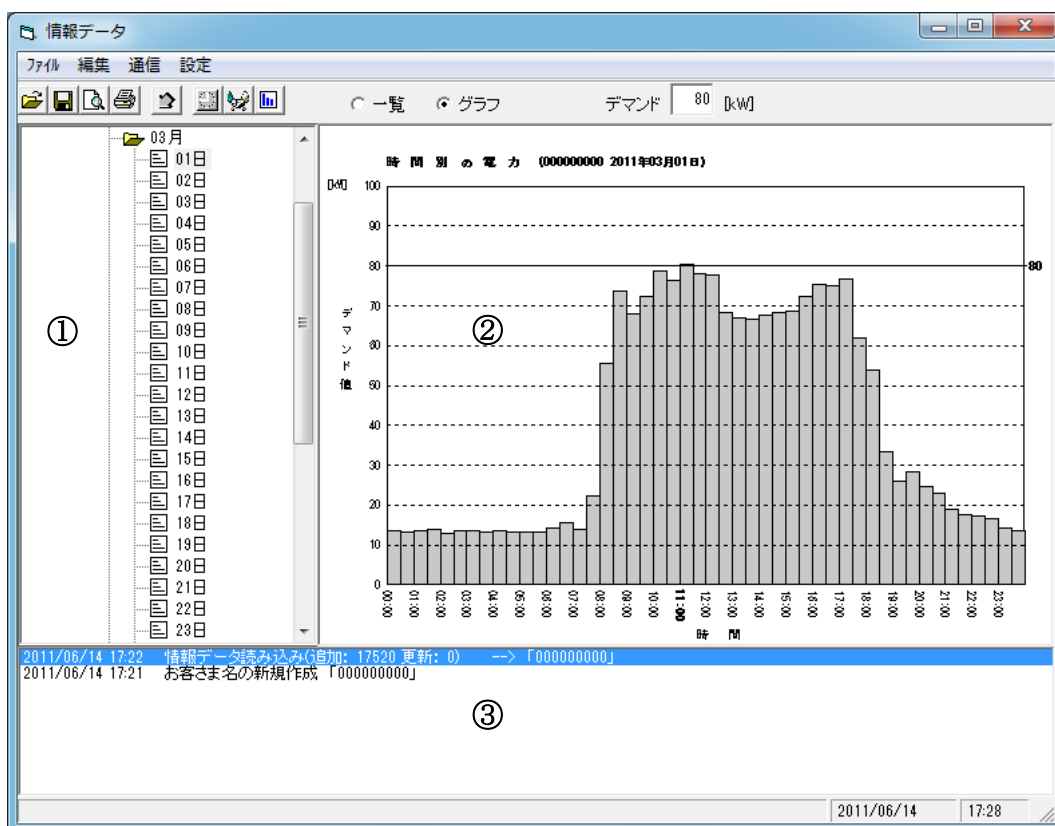


- ①新規作成
- ②開く
- ③保存
- ④印刷
- ⑤設定データの読み出し
- ⑥設定データの登録
- ⑦時刻設定
- ⑧シリアル通信設定

## 4-2、情報データ画面

デマンド情報データを読み込み／閲覧する画面です。

メイン画面より「情報データ」ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。



### ①データ選択エリア

検出器から取得した情報データを、年／月／日ごとにマウスで選択できます。

年／月／日の項目上でマウスをクリックすると、データ表示エリア②に対象データを表示します。

ダブルクリックで下位の項目が表示または非表示になります。

### ②データ表示エリア

データ選択エリア①で選択されたデータを表示します。

表示形式は一覧形式、またはグラフ形式（棒グラフ／折線グラフ）を選択することが出来ます。

### ③ログ表示エリア

操作履歴を表示します。

最新 500 履歴まで保持します。



## (1) メニューと機能詳細

### (ア) 「ファイル」メニュー

#### → 「開く」

保存したデータ (\*. dmd) を開きます。保存していない編集中的数据は破棄されます。

#### → 「保存」

編集中的数据を保存 (\*. dmd) します。お客さま名の変更、新規作成、また情報データの読み出しを行った後は保存を行って下さい。

#### → 「ファイル出力」

データ表示エリアに表示中のデータを、CSV、またはPDF ファイル形式で出力します。

#### → 「ファイル読込」

上記「ファイル出力」により保存されたCSV ファイルを読み込みます。

#### → 「印刷プレビュー」

データ表示エリアに表示中データの印刷イメージをプレビュー表示します。

#### → 「印刷」

データ表示エリアに表示中データをプリンターに出力します。

#### → 「閉じる」

情報データ画面を終了します。

### (イ) 「編集」メニュー

#### → 「お客さま名の新規作成」

データ選択エリアに新しいお客さまを登録します。

#### → 「お客さま名の変更」

データ選択エリアで選択中のお客さま名称を変更します。

#### → 「削除」

データ選択エリアで選択中のお客さま、または年データを削除します。

### (ウ) 「通信」メニュー

#### → 「情報データの読み出し」

検出器から情報データの読み出しを行い、選択したお客さまへ登録します。

### (エ) 「設定」メニュー

#### → 「時刻設定」

時刻設定画面を表示します。

#### → 「シリアル通信設定」

シリアル通信設定画面を表示します。

#### → 「グラフ設定」

グラフ設定画面を表示します。

## (2) メニューバー

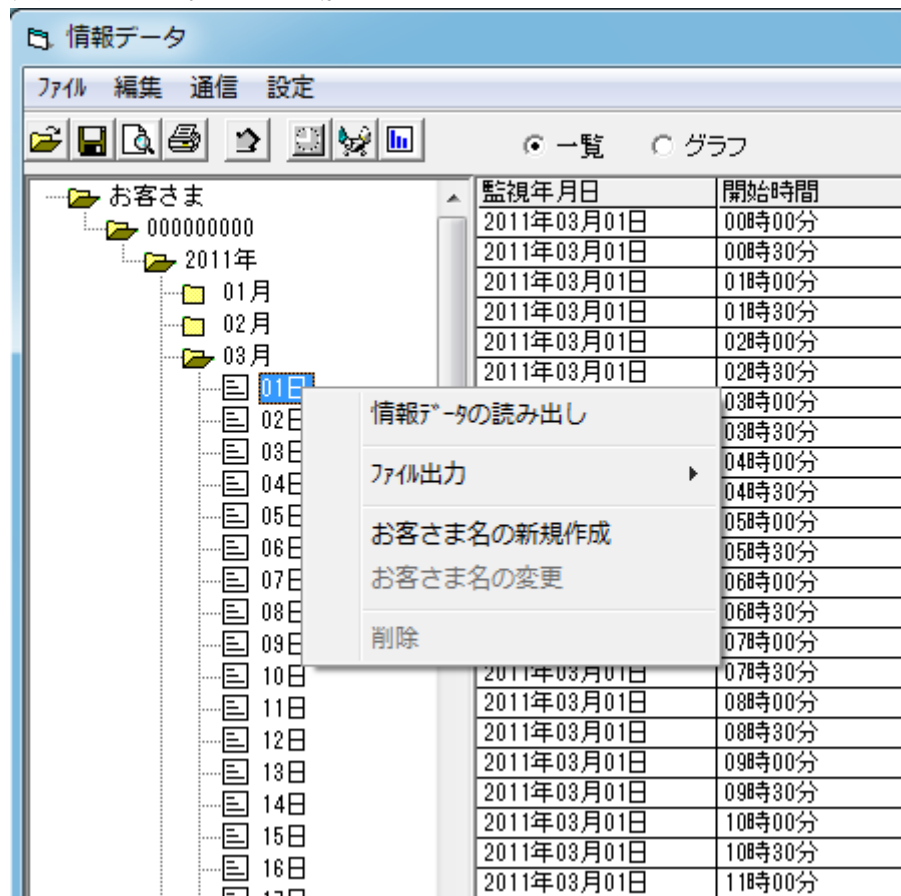


- ①開く (前回保存データ)
- ②保存
- ③印刷プレビュー
- ④印刷
- ⑤情報データの読み出し
- ⑥時刻設定
- ⑦シリアル通信設定
- ⑧グラフ設定
- ⑨データ表示エリア・表示形式選択
- ⑩デマンド入力欄

## (3) ポップアップメニュー

データ選択エリアで、お客さま／年／月／日の各項目上で右クリックすると、操作項目がポップアップメニューで表示されます。

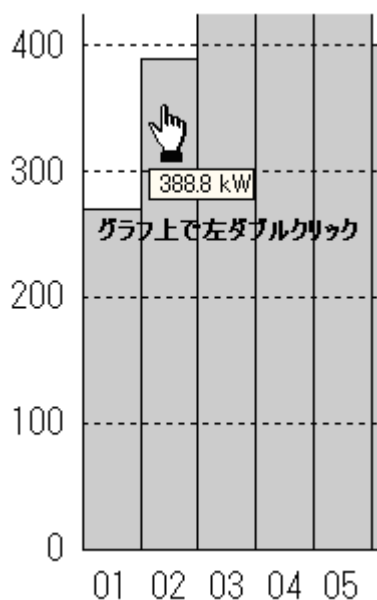
例) 日で右クリックした場合のメニュー



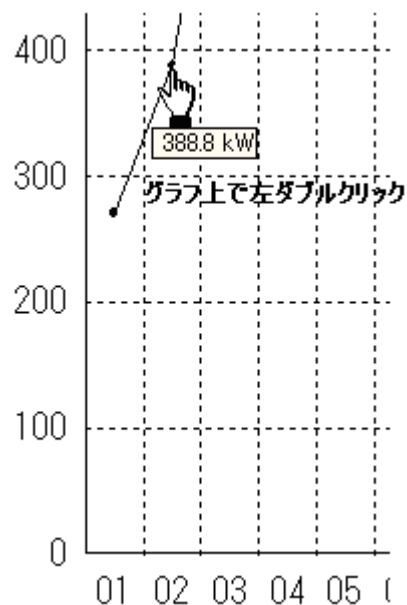
#### (4) グラフ上でのマウス操作

(ア) グラフ上のカーソルが「指差マーク」になる場所で、左ダブルクリックを行うと、自動で一覧表示へ遷移し、対象データが選択状態になります。

(棒グラフ)



(折線グラフ)



↓  
自動で該当するデータ画面に切り替わります  
↓

監視年月日	開始時間	終了時間	デマンド値 [kW]	取得日時
2011年03月01日	01時00分	01時30分	353.5	2011/06/14 17:42
2011年03月01日	01時30分	02時00分	373.8	2011/06/14 17:42
2011年03月01日	02時00分	02時30分	388.8	2011/06/14 17:42
2011年03月01日	02時30分	03時00分	397.7	2011/06/14 17:42
2011年03月01日	03時00分	03時30分	405.6	2011/06/14 17:42
2011年03月01日	03時30分	04時00分	415.2	2011/06/14 17:42

(イ) グラフ上で右クリック行くと、ポップアップメニューが表示され、縦軸（デマンド値）の最大値を変更できます。

☒

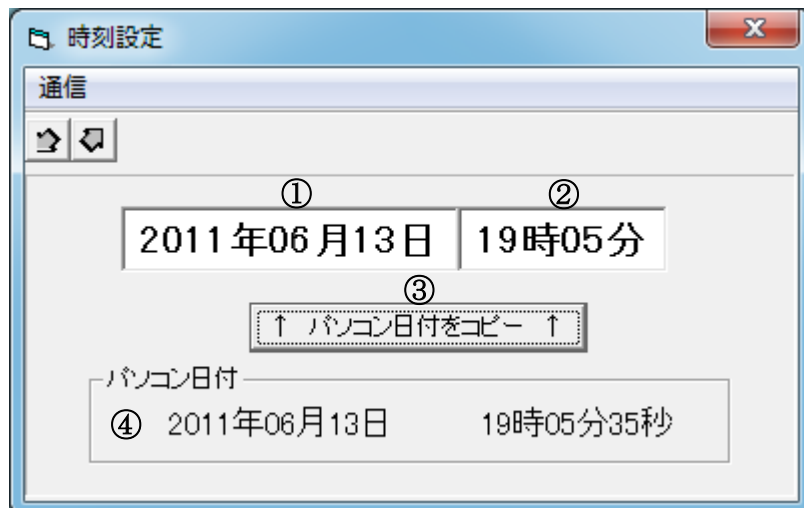
- ~ 50 [kW]
- ~ 75 [kW]
- ~ 100 [kW]
- ~ 150 [kW]
- ~ 200 [kW]
- ~ 300 [kW]
- ~ 500 [kW]
- ~ 750 [kW]
- ~ 1000 [kW]

#### 4-3、時刻設定画面

検出器の日付と時刻を表示／登録する画面です。

監視設定、または情報データ画面より、メニュー「設定」→「時刻設定」をクリックすると以下の画面を表示します。

※ 時刻は必ず電力量計の現在時刻に合わせて下さい。ずれていると正確な計測が出来ません。



- ①日付設定エリア
- ②時刻設定エリア
- ③パソコン日付を設定エリアにコピーします
- ④パソコン日付を表示します

#### (1) メニューと機能詳細

##### (ア) 「通信」メニュー

- 「時刻データの読み出し」  
検出器の時刻データを読み出し、画面に表示します。
- 「時刻データの登録」  
検出器へ、画面に表示中の時刻を登録します。
- 「閉じる」  
時刻設定を終了します。

#### (2) ツールバー



- ①時刻データの読み出し
- ②時刻データの登録

#### 4-4、グラフ設定画面

グラフの表示条件を設定する画面です。

「情報データ」画面より、メニュー「設定」→「グラフ設定」をクリックすると、以下の画面を表示します。

変更後に「OK」ボタンをクリックしてください。

グラフ設定

スケール  
0 ~ 100 [kW] ①  
縦軸(デマンド値)の最大値を選択します。

出力値  
☒ 最大値 ☐ 平均値 ②  
日／月別データを出力する場合の出力値を選択します。

グラフ形式  
☒ 棒グラフ ☐ 折線グラフ ③  
出力スタイルを選択します。

OK キャンセル

①グラフ縦軸（デマンド値）の最大値

情報データ画面起動時の初期値となります。

1000, 750, 500, 300, 200, 150, 100, 75, 50 [kW]から選択します。

②年または月を選択した場合の、縦軸に出力するデマンド値を選択します

（日を選択した場合は、この設定に関係なく常に実測値が表示されます）

最大値：対象の日または月の最大値でグラフ表示

平均値：対象の日または月の平均値でグラフ表示

③棒グラフ、または折線グラフの形式を選択します

#### 4-5、シリアル通信設定画面

シリアル通信条件を設定する画面です。

「監視設定」画面または「情報データ」画面より、メニュー「設定」→「シリアル通信設定」をクリックすると以下の画面を表示します。

ここでは通信で使用するシリアルポート番号を選択します。

シリアルポートのオープンに失敗する場合は、有効なポート番号に変更して下さい。

300P / 200P シリーズと通信を行う場合は、〈USB〉を選択することで有効なポート番号を自動設定することが出来ます。

設定後に「OK」、または「適用」ボタンをクリックしてください。

※ポート番号以外の項目は、固定値で変更は出来ません。



The image shows a Windows-style dialog box titled "シリアル通信設定" (Serial Communication Settings). It contains a section titled "通信条件" (Communication Conditions) with six settings, each in a dropdown menu and numbered 1 through 6:

- ① ポート番号 (Port Number): Set to "<USB>".
- ② ボーレート (Baud Rate): Set to "19200".
- ③ パリティ (Parity): Set to "N: 無し" (None).
- ④ データビット (Data Bits): Set to "8".
- ⑤ ストップビット (Stop Bits): Set to "1".
- ⑥ フロー制御 (Flow Control): Set to "0: ハンドシェイク無し" (No Handshake).

At the bottom of the dialog are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用" (Apply).

①ポート番号を選択して下さい

②ボーレート : 19200 (固定)

③パリティ : 無し (固定)

④データビット : 8 (固定)

⑤ストップビット : 1 (固定)

⑥フロー制御 : ハンドシェイク無し (固定)

## 5、FAQ

### 5-1、パソコンの確認事項

(1)電源ON状態の検出器と、パソコンをUSBケーブルで接続します。

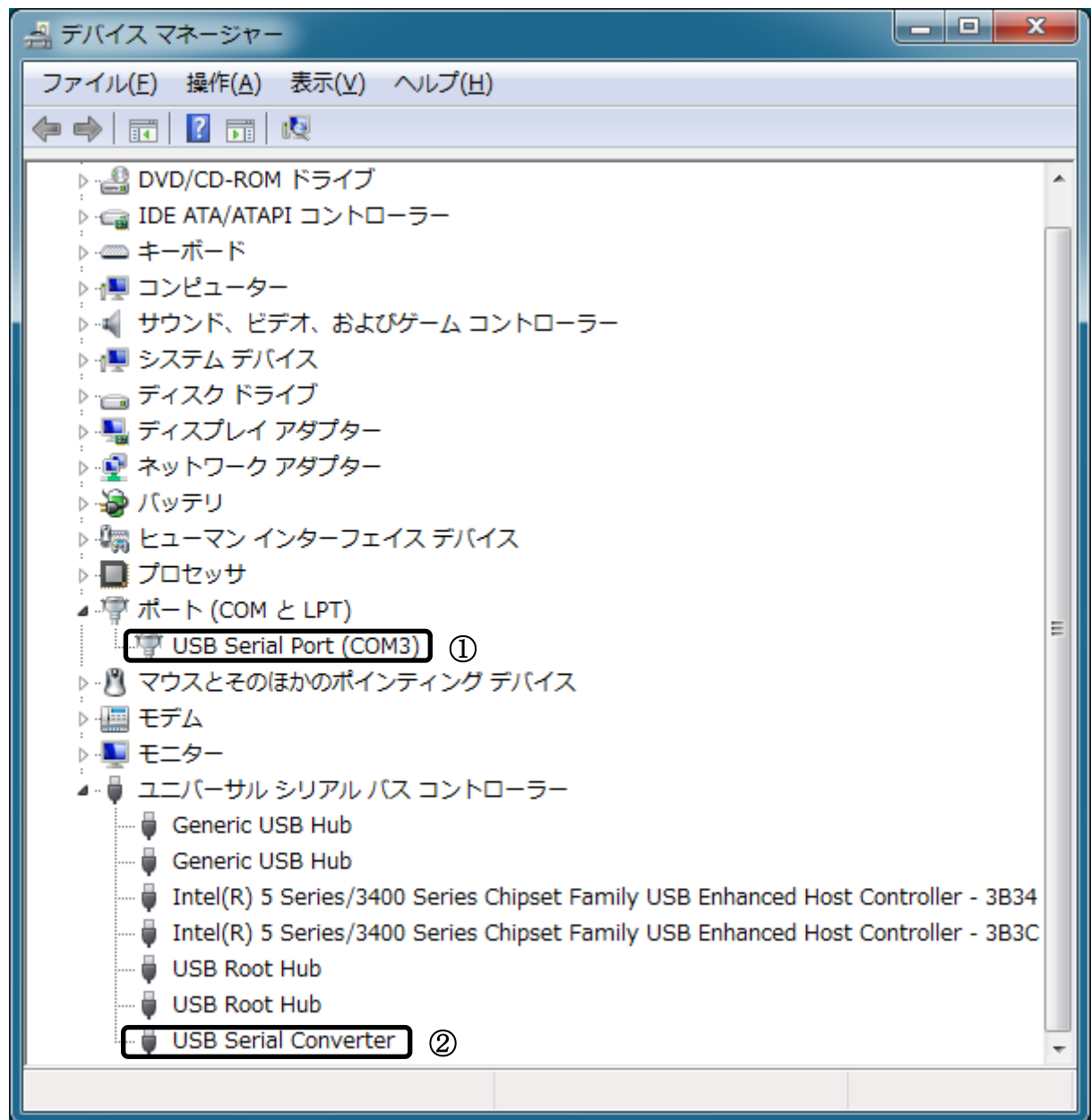
(2)次の手順でデバイスマネージャを起動し、下記項目を確認します。

<Windows XP / Windows Vista の場合>

コントロールパネル→(「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」をクリックし、  
「ハードウェア」タブからデバイスマネージャを起動。

<Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 の場合>

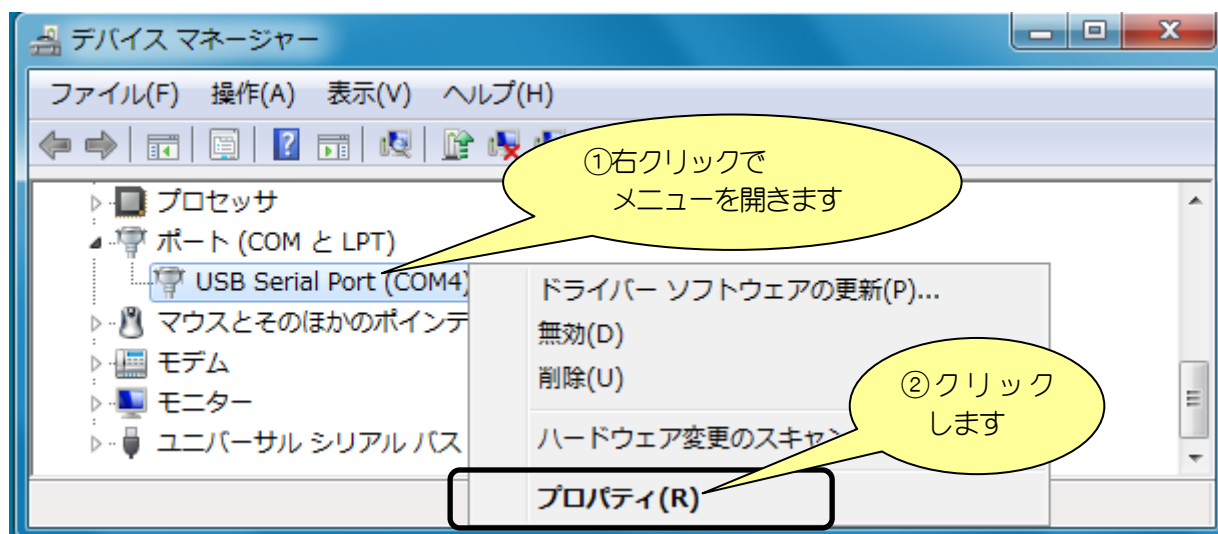
コントロールパネル→「システムとセキュリティ」→「システム」のデバイスマネージャを起動。



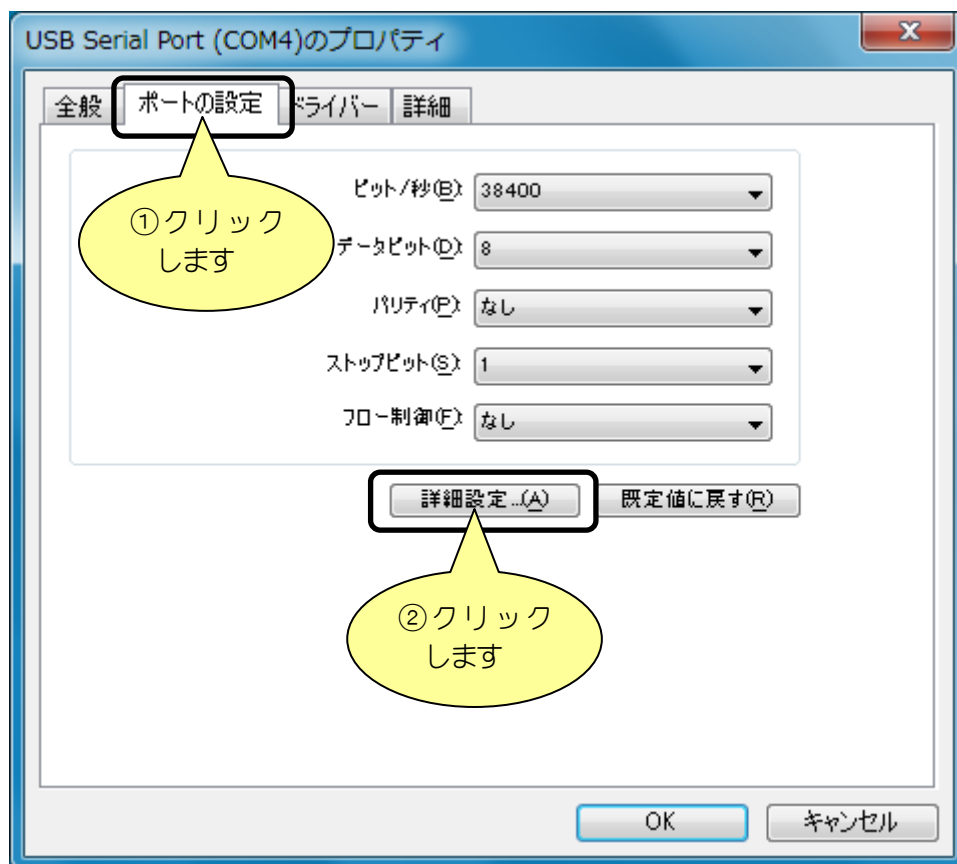
No.	確 認 項 目
①	「ポート (COM と LPT)」に、「USB Serial Port (COMx)」が表示されていること。 ※COMx の x に表示される数値は環境により異なります。 また、ソフトウェアで認識できる最大値はCOM16 までです。 表示される数値がCOM17 以上の場合は、本書記載「5-2、COMポート番号の手動変更」を実施して下さい。
②	「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」(=「USB (Universal Serial Bus) コントローラー」)に、「USB Serial Converter」が表示されていること。

## 5-2、COMポート番号の手動変更

- (1) コントロールパネル→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」をクリックし、「ハードウェア」タブからデバイスマネージャを起動し、「USB Serial Port (COMx)」のプロパティを開きます。

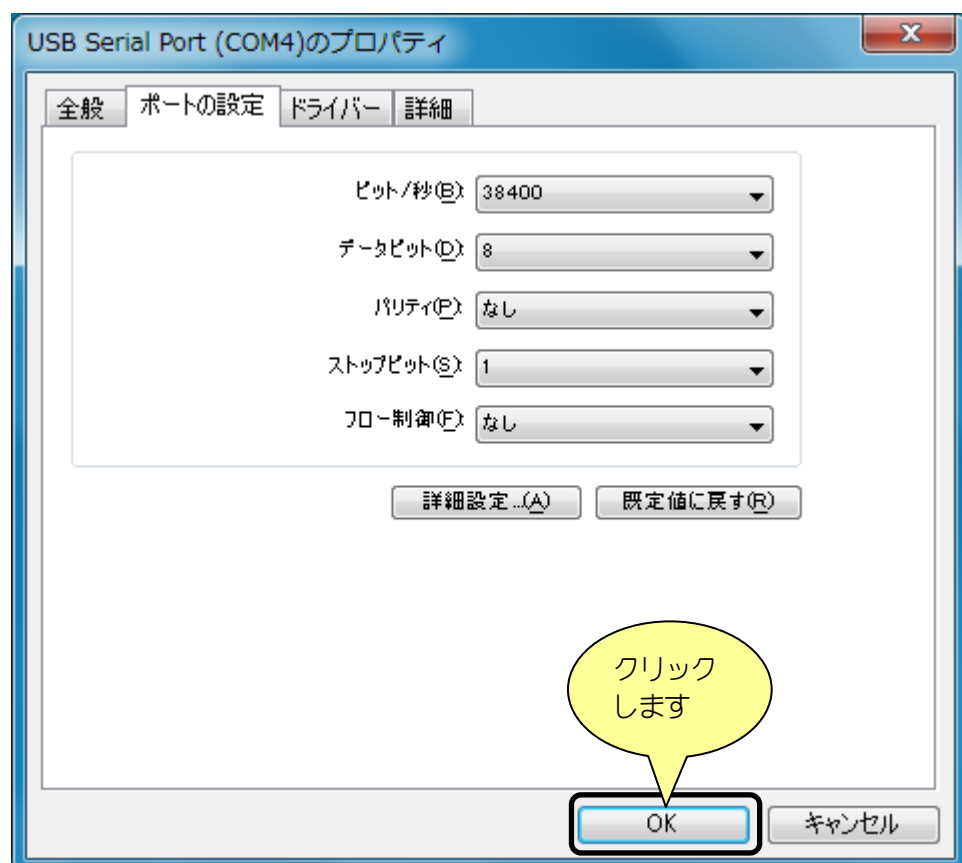
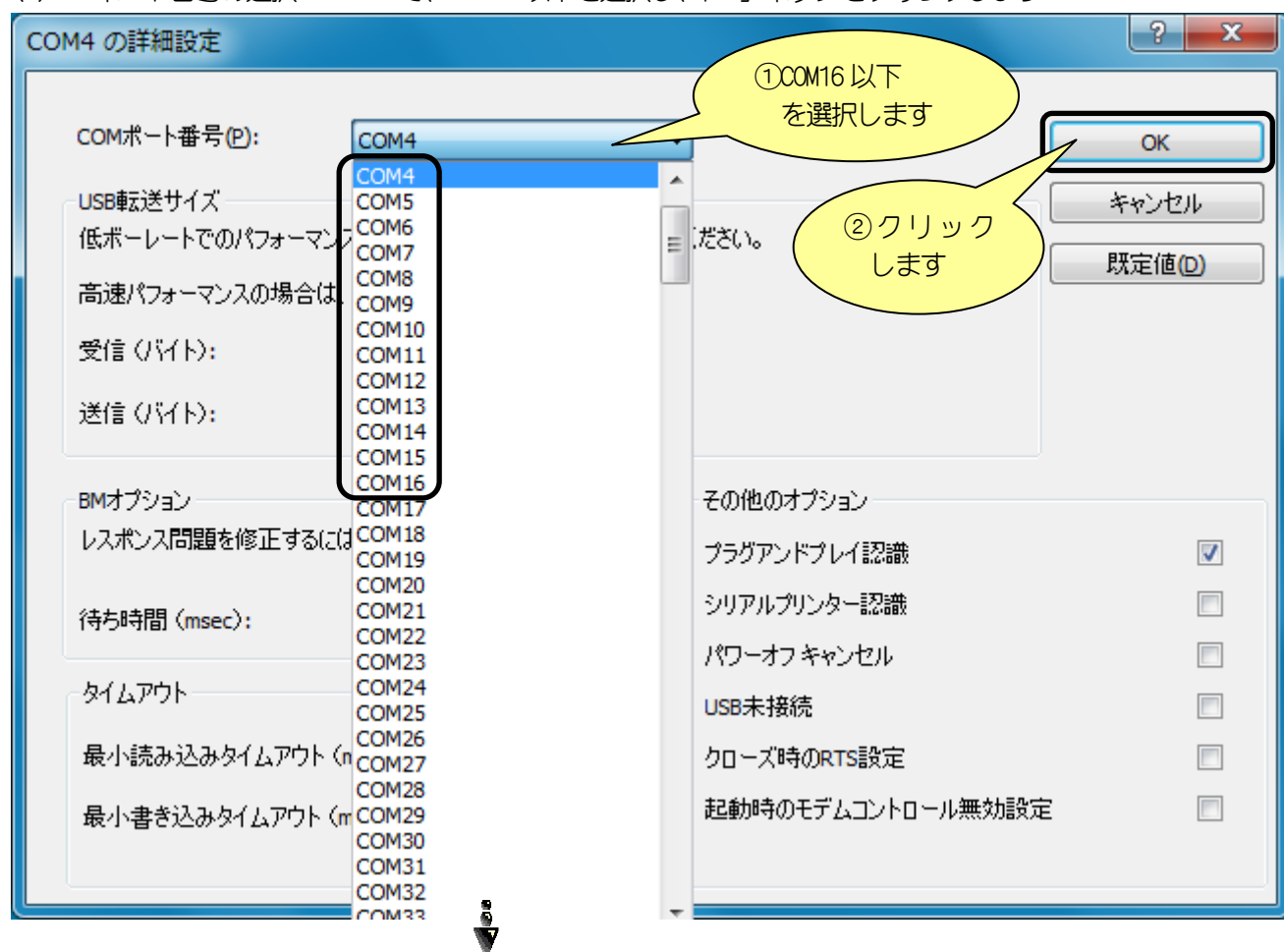


- (2) ポートの設定の「詳細設定」を開きます





(3) COMポート番号の選択メニューで、COM16 以下を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



(4) 最後にデバイスマネージャを閉じて作業は終了です。

### 5-3、CSV フォーマット

CSV ファイルに出力されるデータフォーマットは以下の通りです。

YYYYMMDD, HHmm, 9999

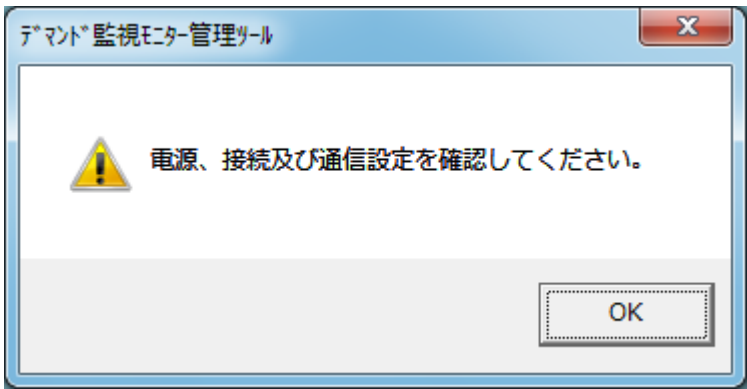
YYYYMMDD	:	西暦（4桁）＋月（2桁）＋日（2桁）
HHmm	:	時（2桁）＋分（2桁） ※監視の開始時間
9999	:	デマンド値×10 [kW]

例) 2011年3月29日 PM05時00分～PM05時30分にデマンド値が98.5kWの場合、

20110329 , 1700 , 0985

と出力されます。

#### 5-4、異常時のメッセージと対処方法

症 状	
<p>「電源、接続及び通信設定を確認してください。」が表示された</p> 	
考えられる原因	点 検 ・ 確 認 ・ 対 応
USB ドライバがインストールされていない	本書記載「2-4、USB ドライバのインストール」を実施して下さい
接続機器の電源 SW が OFF	接続機器の電源 SW を ON にして下さい
USB ケーブルが接続されていない	USB ケーブルを接続して下さい
予期せぬ通信障害の発生	ソフトウェアを終了させ、再起動を行って下さい

## デマンド監視モニター

### 管理ツール 取扱説明書

初 版	2010 年 10 月
第2 版	2011 年 06 月
第3 版	2012 年 05 月
第4 版	2013 年 08 月
第5 版	2014 年 12 月
第6 版	2016 年 03 月

著作権所有 ミドリ安全(株) 2016 年  
この資料の一部を当社の許可なく他に転載する  
ことを禁じます。また、この内容は予告なしに  
変更することがありますので、ご了承下さい。